

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成され、脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がん患者へのリハビリに対応している。また、これら疾患別リハビリに加え、入院患者の日常生活活動の維持・向上を目的としたリハビリも行っている。診療部門では、診察、リハビリ処方を行う。理学療法部門では、日常生活上の基本的動作能力回復目的の運動療法及び呼吸器・循環器疾患や術後の機能回復を目指した運動療法を行う。また筋電図、筋力測定、心肺運動負荷試験等の身体機能を評価する。作業療法部門では、生活における動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助、上肢の機能および高次脳機能の評価、訓練を行う。言語聴覚療法部門では、脳血管疾患や脳の外傷、あるいは発声器官の障害により生じた失語症や構音障害の患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行う。また、摂食・嚥下障害の機能回復目的の訓練・指導も行っている。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延患者数(人)	99,473	110,992	107,073
1日平均(人)	409.4	462.5	438.8
外来開院日数	243日	240日	244日

※病院事業収支及び活動状況（報告）